

2
SCENE

みんなの学校ができました！

カンボジアの都市と郊外・地方では、教育をめぐる環境に大きな格差があることから、「JHP・学校をつくる会」とは郊外にこだわって学校を建設したいと考えました。

2006年に「カンボジア子ども教育基金」を設立し、写真展の活動などで集まったお金を学校の建設費に充て、08年に完成しました。写真展に来てくださった多くの方々と一緒に建てた学校で、みなさんに心から感謝しています。

その学校は、プノンベンから車で約3時間かかるブレイヴェン県にあります。廃校寸前だったメーサン小学校を建て直し、コンクリート校舎にしました。

かつてはトイレがなく不衛生だったため、感染症が広がっていました。学びに行くところで病気になるなんて悲しすぎますから、トイレと井戸の衛生に配慮して建設しました。

感謝の気持ちは物ではない

カンボジアの子どもたちはセレモニーなどで集まるのが大好きです。贈呈式では隣町からも1000人ほどの子どもたちが参加し、盛大に開かれました。

小学校の生徒は約700人。贈呈式ではみんながセレモニーを手作りで開いてくれたり、また別の学校の生徒が日本語で「故郷」を歌ってくれたときは大変感動しました。感謝の気持ちは物ではないですね。子どもたちの精いっぱい姿に、つくづくそう感じました。

今年、カンボジアに2校目を建設したいと思っています。新しい学校もバリアフリーで作りたいです。地雷や不発弾の爪痕は深く、今でも手足を失う子どもたちが後を絶たないからです。車いすやつえをついている子どもたちにとって、段を1段上ることも大変です。

少しでも不自由を感じない環境で勉強してほしい。感謝の心と学びたい心。子どもたちの思いに、これからもこたえていきたいと考えています。



©Norika Fujiwara

ふじわら・のりか 女優。兵庫県出身。ドラマ、CM、司会などで活躍。主な作品は「スタアの恋」「大奥～華の乱～」「愛と青春の宝塚」(フジテレビ)、「ツレがうつになりまして」(NHK)では鬱病の夫を支える妻を好演。過酷な環境の中で働く産科医をテーマにした連続ドラマ「ギネ 産婦人科の女たち」(日本テレビ)では主演を務めた。

2002年、日韓国民交流年で親善大使を務める。戦乱で傷ついたアフガニスタンをとらえた写真展を04年6月にニューヨーク

の国連で開催、その際アナン元事務総長に面会し、スピーチも。以降、国際活動を本格化。赤十字広報大使として、各国を訪問している。また、各地でチャリティー写真展「Smile Please!」も開催中。

今の心境と美の秘訣を惜しみなくつづった「紀香パティ！2 リ・アル」を発売。現在、自身2度目となるブロードウェイミュージカル「キャバレー」に主演中。公演は29日まで東京・有楽町の日生劇場、2月5～7日：大阪市北区の梅田芸術劇場、

2月12～14日：名古屋市昭和区の愛知県勤労会館、2月20～21日：北九州市小倉区の北九州芸術劇場。詳細はキャバレーのホームページ (<http://2010cabaret.jp/>) で。

藤原紀香さん公式HP
Smile Please 世界子ども基金HP
<http://www.norikanesque.com/>
<http://www.smile-please.com/>

次回は2月26日に掲載します。

